

プラクトフェンス[®] 東京製綱（株）

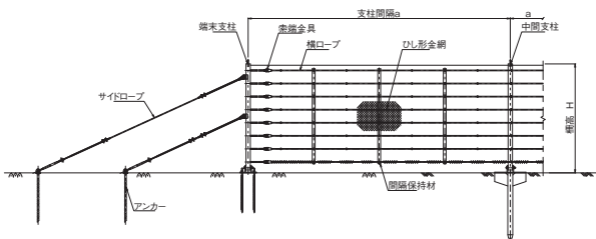
プラクトフェンスは、斜面の落石を受け止める落石防護柵です。基礎をアンカー構造としているため、コンクリート基礎が必要なく、ほとんど地山を傷めることなく山腹への設置が可能です。

特長

1. 既設柵の老朽化取替え対策として道路際にも設置できます。
2. 足場や大がかりな建設機械を使用せず、短時間で施工することができます。
3. 落石により損傷した支柱、金網等の部材の交換も容易に行えます。
4. 養生期間がなく、各部材が軽量であることから、荷揚げ・撤去作業を効率よく行うことができます。
5. 緊急を要する災害復旧の仮設防護工としても対応可能です。

形式・仕様

形式	柵高 (m)	横ロープ 仕様・本数	吊ロープ 仕様	金網 (mm)	支柱間隔 (m)	部材断面		対応落石 エネルギー
						中間・端末支柱	間隔保持材	
PFS-25	2.5	18φ・8本	16φ	3.2φ×50×50	6.0 (標準)	H-100×100×6×8	4.5t×65	50kJ
PFS-30	3.0	18φ・10本				H-125×125×6.5×9		
PFM-25	2.5	18φ・8本	18φ	4.0φ×50×50		H-125×125×6.5×9	100kJ	
PFM-30	3.0	18φ・10本						



ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や復写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、あるいは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。